



2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 アステラス製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4503 URL https://www.astellas.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 安川 健司
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・アドボカシー (氏名) 藤井 郁乃 (TEL) 03(3244)3201
 & リレーション部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	940,907	△4.8	159,470	△32.9	164,227	△31.3	132,917	△30.1	132,917	△30.1	155,897	△8.5
2020年3月期第3四半期	988,535	△1.6	237,658	13.5	239,185	12.4	190,021	△0.8	190,021	△0.8	170,377	△13.1
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2021年3月期第3四半期	71.56		71.52									
2020年3月期第3四半期	100.96		100.89									

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,296,843	1,368,609	1,368,609	59.6
2020年3月期	2,315,169	1,289,168	1,289,168	55.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2021年3月期	-	21.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,256,500	△3.4	210,500	△13.7	209,500	△14.6	169,500	△13.3	169,500	△13.3	91.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

コアベースでの連結業績予想は次のとおりです。

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		コア当期利益		基本的1株当たり コア当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,256,500	△3.4	251,000	△9.6	200,500	△10.2	107.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。コアベースの業績の定義につきましては、添付資料に記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期第3四半期	1,861,787,075株	2020年3月期	1,861,787,075株
② 期末自己株式数	2021年3月期第3四半期	4,245,752株	2020年3月期	4,276,454株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期第3四半期	1,857,485,941株	2020年3月期第3四半期	1,882,148,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料をご覧ください。

(四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

四半期決算短信の開示とあわせて四半期決算補足資料及び四半期決算説明会資料を開示しています。

また、2021年1月29日(金)に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	10
(1) 要約四半期連結純損益計算書	10
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	12
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	14
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	16
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(企業結合)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<連結業績（コアベース^(注)）>

当第3四半期（2020年4月1日から12月31日）の連結業績（コアベース）は下表のとおりです。売上収益、コア営業利益、コア四半期利益はいずれも減少しました。

[連結業績（コアベース）]

（単位：百万円）

	前第3四半期 (2020年3月期)	当第3四半期 (2021年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	988,535	940,907	△47,628 (△4.8%)
売上原価	221,642	187,736	△33,906 (△15.3%)
販売費及び 一般管理費	353,575	363,044	+9,468 (+2.7%)
研究開発費	159,754	168,821	+9,067 (+5.7%)
無形資産償却費	15,437	17,294	+1,857 (+12.0%)
持分法による投資損益	△2,179	△266	+1,913 (-)
コア営業利益	235,947	203,746	△32,201 (△13.6%)
コア四半期利益	191,851	166,641	△25,209 (△13.1%)
基本的1株当たり コア四半期利益（円）	101.93	89.71	△12.22 (△12.0%)

(注) 当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。当該コアベースの業績は、フルベースの業績から当社が定める非経常的な項目を調整項目として除外したものです。調整項目には、減損損失、有形固定資産売却損益、リストラクチャリング費用、災害による損失、訴訟等による多額の賠償又は和解費用等のほか、会社が除外すべきと判断する項目が含まれます。なお、フルベースの実績からコアベースの実績への調整表は、決算補足資料に記載しています。

【売上収益】

- ・ 主要製品の前立腺がん治療剤XTANDI／イクスタンジ、急性骨髄性白血病治療剤ゾスパタの売上が引き続き増加したことに加え、2019年12月に米国で発売された尿路上皮がん治療剤PADCEVの共同販促収入の伸長が売上収益に貢献しました。
- ・ 加えて、過活動膀胱（OAB）治療剤ベタニス／ミラベトリック／ベットミガの売上が順調に推移したほか、骨粗鬆症治療剤イベニティや糖尿病治療剤スーグラとスー ज्याヌ配合錠などの日本の新製品群が伸長しました。
- ・ しかしながら、欧州におけるOAB治療剤ベシケア及び日本における消炎・鎮痛剤セレロックスの独占販売期間満了、喘息治療剤シムビコート、KMバイオロジクス株式会社のヒト用ワクチン及び高血圧症治療剤ミカルディスファミリーの販売契約終了などにより、売上収益が減少しました。さらに、COVID-19の拡大の影響により、売上がマイナスの影響を受けました。

以上の結果、売上収益は、9,409億円（前年同期比4.8%減）となりました。

【コア営業利益／コア四半期利益】

- ・ 売上総利益は、7,532億円（同1.8%減）となりました。売上原価率は、主に製品構成の変化により前年同期に比べ2.5ポイント低下し、20.0%となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、3,630億円（同2.7%増）となりました。COVID-19の拡大に伴い営業活動等を自粛したことなどによる経費の減少がありましたが、XTANDIの米国での売上拡大に伴う共同販促費用の増加に加え、前年同期において損失評価引当金の戻入れが一過性の費用減少要因となっていたこともあり、総額として増加しました。
- ・ 研究開発費は、1,688億円（同5.7%増）となりました。COVID-19の拡大が一部の臨床試験の実施に影響したことによる開発費用の減少などがありましたが、重点後期開発品の開発費用の増加や2020年1月に買収したAudentes社の研究開発費が加わったことにより、総額として増加しました。売上収益研究開発費比率は、前年同期に比べ1.8ポイント増加し、17.9%となりました。
- ・ 無形資産償却費は、173億円（同12.0%増）となりました。

以上の結果、コア営業利益は2,037億円（同13.6%減）、コア四半期利益は1,666億円（同13.1%減）となりました。

【為替の業績への影響】

当第3四半期の為替レートは、下表のとおりです。これらの結果、前第3四半期の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益においては73億円の減少、コア営業利益においては36億円の減少の影響がありました。

期中平均レート	前第3四半期	当第3四半期	変動
米ドル/円	109	106	3円高
ユーロ/円	121	122	1円安

期首・期末の変動	前第3四半期	当第3四半期
米ドル/円	1円高	5円高
ユーロ/円	2円高	7円安

<連結業績（フルベース）>

当第3四半期の連結業績（フルベース）は下表のとおりです。売上収益、営業利益、税引前四半期利益、四半期利益はいずれも減少しました。

フルベースの業績には、コアベースの業績で除外される「その他の収益」、「その他の費用」等が含まれます。当第3四半期における「その他の収益」は70億円（前年同期：151億円）、「その他の費用」は513億円（同：134億円）となりました。「その他の費用」として、第2四半期において、抗TIGIT抗体ASP8374/PTZ-201の開発中止に伴う減損損失を302億円計上したことから、コアベースの業績と比較して減益幅が大きくなりました。

[連結業績（フルベース）]

（単位：百万円）

	前第3四半期 (2020年3月期)	当第3四半期 (2021年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	988,535	940,907	△47,628 (△4.8%)
営業利益	237,658	159,470	△78,188 (△32.9%)
税引前四半期利益	239,185	164,227	△74,958 (△31.3%)
四半期利益	190,021	132,917	△57,104 (△30.1%)
基本的1株当たり 四半期利益（円）	100.96	71.56	△29.40 (△29.1%)
四半期包括利益	170,377	155,897	△14,481 (△8.5%)

【主要製品の売上】

(単位：億円)

	前第3四半期 (2020年3月期)	当第3四半期 (2021年3月期)	増減率
XTANDI/イクスタンジ	2,979	3,427	+15.0%
ゾスパタ	98	176	+80.7%
PADCEV	0	94	—
ベタニス/ミラベトリック /ベットミガ	1,210	1,223	+1.0%
ベシケア	362	247	△31.8%
プログラフ*	1,462	1,383	△5.4%

*プログラフ：アドバグラフ、グラセプター、アスタグラフXLを含む

- ・ XTANDI/イクスタンジの売上は、3,427億円（前年同期比15.0%増）となりました。日本、米国、エスタブリッシュドマーケット*1、グレーターチャイナ*2及びインターナショナル*3の全ての地域で売上が増加しました。
- ・ ゾスパタの売上は、176億円（同80.7%増）となりました。日本、米国で売上が増加したことに加え、2019年11月に発売したエスタブリッシュドマーケットでの売上も貢献しました。
- ・ PADCEVの米国での共同販促収入は、94億円となりました。
- ・ ベタニス/ミラベトリック/ベットミガの売上は、1,223億円（同1.0%増）となりました。米国、エスタブリッシュドマーケット及びグレーターチャイナで売上が増加しましたが、日本、インターナショナルではCOVID-19の拡大の影響による受診抑制に伴う需要減などにより、売上が減少しました。
- ・ ベシケアの売上は、欧州において独占販売期間満了に伴う後発医薬品発売の影響を受けたことなどから、247億円（同31.8%減）となりました。
- ・ プログラフの売上は、1,383億円（同5.4%減）となりました。グレーターチャイナで伸長しましたが、それ以外の地域の売上が減少しました。
- ・ 日本では、イベニティをはじめ、スーグラとスージャヌなどの新製品群の売上が引き続き増加しました。一方、シムビコート、KMバイオロジクス株式会社のヒト用ワクチン、ミカルディスファミリーの販売契約終了のほか、セレコックスの独占販売期間満了が主な売上の減少要因となりました。
- ・ 米国では、主に第1四半期において、COVID-19の拡大の影響による受診抑制に伴う需要減があったことから、心機能検査補助剤レキスキャンの売上が減少しました。

*1 エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

*2 グレーターチャイナ：中国、香港、台湾

*3 インターナショナル：ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

【地域別売上収益の状況】

地域別の売上収益は下表のとおりです。米国は増加、エスタブリッシュドマーケットは前年同期と同程度となりました。一方、日本、グレーターチャイナ及びインターナショナルは減少しました。

(単位：億円)

	前第3四半期 (2020年3月期)	当第3四半期 (2021年3月期)	増減率
日本	2,762	2,218	△19.7%
米国	3,319	3,558	+7.2%
エスタブリッシュド マーケット	2,180	2,180	△0.0%
グレーターチャイナ	444	438	△1.2%
インターナショナル	1,028	876	△14.8%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、資本及び負債の状況

第1四半期において、2020年1月に買収したAudentes社の取得資産と引受負債の公正価値を修正したことにより前期末の連結財政状態計算書を遡及修正しています。その結果、遡及修正前と比較し、のれんが増加、無形資産と繰延税金負債が減少しました。なお、当第3四半期末において、当該公正価値の測定は継続中です。

当第3四半期末（2020年12月31日時点）の連結財政状態計算書の概要及び遡及修正後の前期末からの主な変動は以下のとおりです。

【資産】

当第3四半期末における総資産は、2兆2,968億円（前期末比183億円減）となりました。

<非流動資産>当第3四半期末：1兆4,335億円（同141億円減）

- ・有形固定資産は、2,552億円（同134億円減）となりました。
- ・のれんは2,678億円（同105億円減）、無形資産は6,972億円（同276億円減）となりました。第2四半期において、抗TIGIT抗体ASP8374/PTZ-201の開発中止に伴う減損損失を計上したことなどにより、無形資産が減少しました。

<流動資産>当第3四半期末：8,633億円（同42億円減）

- ・現金及び現金同等物は3,065億円（同119億円減）となりました。

【資本】

資本合計は、1兆3,686億円（同794億円増）となり、親会社所有者帰属持分比率は59.6%となりました。

- ・四半期利益1,329億円を計上した一方で、剰余金の配当762億円を実施しました。

【負債】

負債合計は、9,282億円（同978億円減）となりました。

<非流動負債>当第3四半期末：2,924億円（同651億円増）

- ・その他の金融負債は1,990億円（同697億円増）となりました。第1四半期において、短期借入金から長期借入金へ800億円の借り換えを実施したことにより、増加しました。

<流動負債>当第3四半期末：6,358億円（同1,629億円減）

- ・当第3四半期末の社債の残高は1,650億円となりました。上述の短期借入金の長期借入金への借り換え及び返済などにより、その他の金融負債は1,895億円（同1,562億円減）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、2,251億円（前年同期比549億円増）となりました。

- ・ 法人所得税の支払額は105億円（同200億円減）となりました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、△677億円（同67億円支出減）となりました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第3四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、△1,713億円（同461億円支出増）となりました。

- ・ 長期借入れによる収入800億円があった一方、社債及び短期借入金残高の減少が1,610億円ありました。また、配当金の支払額は762億円（同26億円増）となりました。

以上の結果、当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、3,065億円（前期末比119億円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、連結業績予想について、コアベース及びフルベースでの業績予想を開示しています。
当期（2021年3月期）の通期連結業績予想は下表のとおりです。

2020年10月に公表した業績予想を据え置き、修正していません。

[通期連結業績予想（コアベース）]

(単位：百万円)

	前期実績 (2020年3月期)	通期予想 (2021年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,300,843	1,256,500	△44,343 (△3.4%)
研究開発費	224,226	233,500	+9,274 (+4.1%)
コア営業利益	277,758	251,000	△26,758 (△9.6%)
コア当期利益	223,178	200,500	△22,678 (△10.2%)
基本的1株当たり コア当期利益(円)	118.95	107.94	△11.01 (△9.3%)

[通期連結業績予想（フルベース）]

(単位：百万円)

	前期実績 (2020年3月期)	通期予想 (2021年3月期)	増減額 (増減率)
売上収益	1,300,843	1,256,500	△44,343 (△3.4%)
営業利益	243,991	210,500	△33,491 (△13.7%)
税引前利益	245,350	209,500	△35,850 (△14.6%)
当期利益	195,411	169,500	△25,911 (△13.3%)
基本的1株当たり 当期利益(円)	104.15	91.25	△12.90 (△12.4%)

[通期の想定為替レート]

2021年3月期(想定) : 109円/米ドル、120円/ユーロ

2020年3月期(実績) : 109円/米ドル、121円/ユーロ

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結純損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	988,535	940,907
売上原価	△221,642	△187,736
売上総利益	766,893	753,171
販売費及び一般管理費	△353,575	△363,044
研究開発費	△159,754	△168,821
無形資産償却費	△15,437	△17,294
持分法による投資損益	△2,179	△266
その他の収益	15,079	7,045
その他の費用	△13,368	△51,322
営業利益	237,658	159,470
金融収益	3,831	6,504
金融費用	△2,304	△1,746
税引前四半期利益	239,185	164,227
法人所得税費用	△49,164	△31,310
四半期利益	190,021	132,917
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	190,021	132,917
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	100.96	71.56
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	100.89	71.52

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	190,021	132,917
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	△4,546	24,423
確定給付制度の再測定	696	△656
小計	△3,851	23,767
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△15,793	△787
小計	△15,793	△787
その他の包括利益	△19,644	22,980
四半期包括利益合計	170,377	155,897
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	170,377	155,897

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	268,600	255,178
のれん	278,253	267,796
無形資産	724,773	697,164
売上債権及びその他の債権	34,014	34,042
持分法で会計処理されている投資	4,692	5,836
繰延税金資産	52,876	51,514
その他の金融資産	74,264	112,168
その他の非流動資産	10,184	9,851
非流動資産合計	1,447,655	1,433,549
流動資産		
棚卸資産	151,017	155,743
売上債権及びその他の債権	347,042	345,605
未収法人所得税	23,556	16,223
その他の金融資産	9,459	19,967
その他の流動資産	18,049	19,243
現金及び現金同等物	318,391	306,514
流動資産合計	867,514	863,294
資産合計	2,315,169	2,296,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資本及び負債		
資本		
資本金	103,001	103,001
資本剰余金	177,506	177,644
自己株式	△7,178	△7,184
利益剰余金	905,851	963,012
その他の資本の構成要素	109,989	132,136
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,289,168	1,368,609
資本合計	1,289,168	1,368,609
負債		
非流動負債		
仕入債務及びその他の債務	3,142	1,246
繰延税金負債	24,670	18,228
退職給付に係る負債	38,074	41,145
引当金	6,135	4,449
その他の金融負債	129,272	198,959
その他の非流動負債	25,999	28,361
非流動負債合計	227,293	292,388
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	171,954	111,000
未払法人所得税	4,009	26,592
引当金	14,241	16,943
その他の金融負債	345,707	189,549
その他の流動負債	262,797	291,763
流動負債合計	798,708	635,847
負債合計	1,026,001	928,235
資本及び負債合計	2,315,169	2,296,843

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					新株予約権	在外営業活動体の外貨換算差額
2019年4月1日残高	103,001	177,301	△164,629	991,957	1,127	125,656
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	190,021	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△15,793
四半期包括利益合計	—	—	—	190,021	—	△15,793
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△38,056	—	—	—
自己株式の処分	—	△313	694	△256	△124	—
自己株式の消却	—	—	159,581	△159,581	—	—
配当金	—	—	—	△73,539	—	—
株式報酬取引	—	268	—	—	—	—
振替	—	—	—	1,253	—	—
所有者との取引額合計	—	△45	122,219	△232,124	△124	—
2019年12月31日残高	103,001	177,256	△42,410	949,853	1,002	109,864

2020年4月1日残高	103,001	177,506	△7,178	905,851	899	93,277
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	—	132,917	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△787
四半期包括利益合計	—	—	—	132,917	—	△787
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	△882	—	—	—
自己株式の処分	—	△444	876	△308	△124	—
配当金	—	—	—	△76,157	—	—
株式報酬取引	—	583	—	—	—	—
振替	—	—	—	709	—	—
所有者との取引額合計	—	139	△5	△75,756	△124	—
2020年12月31日残高	103,001	177,644	△7,184	963,012	775	92,489

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定			
2019年4月1日残高	23,984	—	150,767	1,258,396	1,258,396
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	190,021	190,021
その他の包括利益	△4,546	696	△19,644	△19,644	△19,644
四半期包括利益合計	△4,546	696	△19,644	170,377	170,377
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△38,056	△38,056
自己株式の処分	—	—	△124	0	0
自己株式の消却	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△73,539	△73,539
株式報酬取引	—	—	—	268	268
振替	△557	△696	△1,253	—	—
所有者との取引額合計	△557	△696	△1,377	△111,327	△111,327
2019年12月31日残高	18,880	—	129,746	1,317,446	1,317,446

2020年4月1日残高	15,813	—	109,989	1,289,168	1,289,168
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	—	132,917	132,917
その他の包括利益	24,423	△656	22,980	22,980	22,980
四半期包括利益合計	24,423	△656	22,980	155,897	155,897
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	—	△882	△882
自己株式の処分	—	—	△124	1	1
配当金	—	—	—	△76,157	△76,157
株式報酬取引	—	—	—	583	583
振替	△1,365	656	△709	—	—
所有者との取引額合計	△1,365	656	△833	△76,456	△76,456
2020年12月31日残高	38,871	—	132,136	1,368,609	1,368,609

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	239,185	164,227
減価償却費及び無形資産償却費	48,295	54,090
減損損失(又は戻入れ)	83	35,280
金融収益及び金融費用	△1,527	△4,758
棚卸資産の増減額	△988	△1,534
売上債権及びその他の債権の増減額	△29,435	5,385
仕入債務及びその他の債務の増減額	△42,678	△59,192
その他	△12,124	42,136
小計	200,810	235,634
法人所得税の支払額	△30,520	△10,491
営業活動によるキャッシュ・フロー	170,290	225,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,082	△22,915
有形固定資産の売却による収入	6,811	6,567
無形資産の取得による支出	△25,496	△35,947
子会社の取得による支出	△12,913	△14,903
利息及び配当金の受取額	1,887	553
その他	△13,593	△1,090
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74,386	△67,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債及び短期借入金の増減額	—	△161,000
長期借入れによる収入	—	80,000
自己株式の取得による支出	△38,056	△882
親会社の所有者への配当金の支払額	△73,539	△76,157
リース負債の返済による支出	△12,637	△11,589
その他	△999	△1,709
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,232	△171,337
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△4,143	2,052
現金及び現金同等物の増減額	△33,472	△11,877
現金及び現金同等物の期首残高	311,074	318,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	277,602	306,514

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

Audentes Therapeutics, Inc. の取得

現金による株式公開買付により、Audentes Therapeutics, Inc. は2020年1月15日に当社の連結子会社となっています。

第1四半期連結会計期間において、当該企業結合における取得日現在の取得資産及び引受負債の公正価値の測定に関して、新たな事実が判明し追加的な分析を行ったため、下記のとおり、一部の取得資産及び引受負債の暫定的な公正価値を修正しています。なお、当該公正価値の測定は継続中であるため、企業結合の当初の会計処理は完了していません。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末の 暫定的な公正価値	その後の修正	修正後の公正価値
有形固定資産	8,964	—	8,964
無形資産	284,944	△13,723	271,221
FVTOCIの金融資産(負債性)	22,248	—	22,248
現金及び現金同等物	9,320	—	9,320
その他の資産	1,708	—	1,708
仕入債務及びその他の債務	△6,092	—	△6,092
繰延税金負債	△41,517	2,989	△38,528
その他の負債	△6,488	—	△6,488
取得資産及び引受負債の公正価値(純額)	273,085	△10,734	262,351
のれん	42,497	10,734	53,230
合計	315,582	—	315,582
支払対価の公正価値の合計	315,582	—	315,582

のれんの主な内容は、個別に認識要件を満たさない、取得から生じることが期待される既存事業とのシナジー効果及び超過収益力です。

FVTOCIの金融資産(負債性)は、要約四半期連結財政状態計算書の「その他の金融資産」に含まれています。

この修正に伴い、前連結会計年度の要約四半期連結財政状態計算書を遡及修正しています。その結果、前連結会計年度の無形資産及び繰延税金負債がそれぞれ13,734百万円及び2,992百万円減少し、のれんが10,743百万円増加しています。